



平成 27 年 3 月 13 日

同志社大学

学長 村田 晃嗣 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会  
動物実験に関する相互検証プログラム  
検証委員会 委員長

対象機関：同志社大学

申請年月日：平成 26 年 6 月 13 日

訪問調査年月日：平成 26 年 11 月 6 日

調査員：山本 博（富山大学）

喜多 正和（京都府立医科大学）

#### 検証の総評

同志社大学は 1875 年創立の歴史ある大学であり、7 キャンパス、14 学部、16 研究科を擁する我が国を代表する総合私立大学である。動物実験は、2001 年度より開始されているが、京田辺キャンパスを中心にげっ歯類、ウサギ、コウモリ、霊長類を対象に、幅広い研究分野で実施されている。同志社大学における動物実験の実施に関する規程のもとで、動物実験計画の審査、承認、結果報告、教育訓練、自己点検・評価、情報公開等が、文部科学省基本指針に則して適正に実施されている。全学の動物実験委員会委員全員により年間 80 件程度の動物実験計画書の審査を行いその記録も適切に保存されている。動物実験計画書の承認期間は単年度であり、実験実施報告書の提出率は 100%となっている。動物実験教育訓練も全学で実施されている。情報公開に関しては大学のホームページにより公開されている。2013 年度は学内 4 か所の施設で実験動物の飼養保管および動物実験が行われており 2014 年度に新たな飼養保管施設が 1 か所利用に供されている。一部の飼養保管施設においてはスペースおよび構造上の制約があるため必ずしも理想的な環境とはいえない。しかし、現状の実験内容お

よび規模に対応した使用方法を工夫することにより適切な飼育・実験環境を維持している。

以上の点を総合的に判断すると、同志社大学における動物実験は、現状に対応して適正に管理されていると判断される。今後ともそれぞれの飼養保管施設の整備・維持管理に努めさらなる良好な体制を維持し、適切な動物実験の実施が継続されることを期待する。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

##### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

##### 2) 自己点検・評価の妥当性

「同志社大学における動物実験等の実施に関する規程」（2011年2月17日改正）が定められ、その内容は基本指針に則したものである。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

##### 3) 検証の結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

##### 4) 改善に向けた意見

特になし。

#### 2. 動物実験委員会

##### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

##### 2) 自己点検・評価の妥当性

「同志社大学における動物実験等の実施に関する規程」（2011年2月17日改正）のなかで基本指針に則した委員会の役割や委員構成等が定められている。11名の委員により構成される動物実験委員会が学長のもとで組織されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

##### 3) 検証の結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

##### 4) 改善に向けた意見

特になし。

### 3. 動物実験の実施体制

#### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

#### 2) 自己点検・評価の妥当性

「同志社大学における動物実験等の実施に関する規程」（2011年2月17日改正）において、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定され、基本指針に則した動物実験の実施体制が整備されている。また、これらの手続きに必要な各種様式が定められている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

#### 3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

#### 4) 改善に向けた意見

特になし。

### 4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

#### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

#### 2) 自己点検・評価の妥当性

「同志社大学組換え DNA 実験安全管理規程」（2012年2月16日改正）「同志社大学組換え DNA 実験安全管理規程細則」（2011年2月17日改正）「同志社大学放射線障害予防規程」（2013年4月1日改正）「同志社大学放射線安全管理委員会内規」（2013年4月1日改正）「RIを使用する実験に係る実施計画の審査に関する申合せ」（2012年3月19日改正）「同志社大学化学物質管理規程」（2011年2月17日改正）「同志社大学化学物質管理規程実施要項」（2011年1月31日改正）「医心館 RI 実験施設使用に関する申合せ」（2011年10月13日改正）等安全管理に注意を要する動物実験に関連する規程等が定められ、実施体制が整備されている。一方、病原体の管理に関

する規程および実施体制は未整備であるが、これまで感染動物実験は実施されていないことより、自己点検・評価は、「該当する動物実験の実施体制が定められている。」とする。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

感染動物実験は 2013 年度まで実施されていないが、将来の実験計画書の提出に備えて早急に体制と規程の構築が望まれる。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

大学内に 5 か所の飼養保管施設があるが、すべての施設に管理者および実験動物管理者が定められており、基本的な管理体制が整備されており、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

実験動物管理者については、その役割を勘案し、一部の部局における選任について検討されたい。また、地震、火災等の緊急時対応マニュアルを現在の飼育管理マニュアルに追加されたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

意見

特になし。

## Ⅱ. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

#### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 2) 自己点検・評価の妥当性

全学動物実験委員会が設置され、動物実験計画の審査、実施結果に対する助言、飼養保管施設や実験室の調査、教育訓練、自己点検・評価等、基本指針や機関内規程に定められた動物実験委員会の活動が適正に実施され、議事録も保管されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

#### 3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 4) 改善に向けた意見

特になし。

### 2. 動物実験の実施状況

#### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 2) 自己点検・評価の妥当性

基本指針や機関内規程に則して動物実験計画の審査が行われ、平成 25 年度には 80 件の計画が承認されていた。また、実施結果報告書の提出率が 100% であることは高く評価できる。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

#### 3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 4) 改善に向けた意見

特になし。

### 3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない
2) 自己点検・評価の妥当性
「遺伝子組換え実験」「放射性同位元素・放射線使用実験」は適正に実施されている。感染実験の実施体制は整備されていないが、これまで感染実験は実施されていない。よって、現状においては、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない
4) 改善に向けた意見
特になし。

### 4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
すべての部局の飼養保管施設において「動物実験の実施に関するマニュアル」が整備され、飼養保管に関する作業日誌あるいは日報等の記録が保存されている。また、自己点検報告書（飼養保管施設管理状況）の提出が義務づけられている。サル（マカクサル）の飼育管理については、獣医師の監督下で、法令対応（京都府からの飼養許可等）、搬入時の検疫、健康管理、逸走防止措置等について適正に管理されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見

中心的な飼養保管施設においては微生物モニタリングが適切に実施されているが、一部の実施されていない飼養保管施設もある。実施されていない飼養保管施設においては、今後、微生物モニタリングの実施を検討されたい。

## 5. 施設等の維持管理の状況

### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

### 2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設により整備状況や設備については、中心的飼養保管施設である医心館特殊実験棟動物実験施設においては、飼育室や飼育装置など適正に整備されているが、心理学部動物実験施設では構造的な理由から飼育室前廊下を共通の前室（手袋、マスク、作業着など配置）として利用している点など部局間の格差がみられる。しかしながら、飼育室前廊下を利用した共通の前室にはセキュリティシステムにより登録者のみの入室を許可していることや、消毒などの衛生管理も実施されていること等、使用方法を工夫することにより適切な飼育・実験環境を維持している。以上より、自己点検・評価の結果は、妥当である。

### 3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

### 4) 改善に向けた意見

これまで、施設等の管理や改善計画等は部門ごとに行っているが、中長期の整備計画等も含め、設備の整備や施設修理等を大学全体として管理することを検討されたい。

## 6. 教育訓練の実施状況

### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

全学動物実験委員会による教育訓練が実施され、平成 25 年度の教育訓練受講者は 876 名であった(DVD による受講含む)。また、教育訓練の実施記録や受講者の記録等がよく整理されており、基本指針に則した教育訓練が実施されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

自己点検・評価、およびその情報公開については、大学ホームページにおいて 2008 年度より一部の項目について実施されてきたが、2012 年度より国立大学法人動物実験施設協議会および公私立大学実験動物施設協議会の要請に基づく情報公開項目が掲載されており、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

意見

同志社大学研究倫理審査室および環境保全・実験実習支援センターが設けられ、動物実験委員

会や動物実験に関する報告事務を管理している点は評価できる。